

質保証を実現するための アセスメント

参加費
無料

定員200名
(申込順)

◇ 第1部 ◇ (10:30 ~ 12:00)
連携事業の成果報告

◇ 第2部 ◇ (13:00 ~ 16:40)

基調講演

Dr. Susan Albertine

(Senior Scholar, Office of Integrative Liberal Learning and the Global Commons, AAC&U)

「すべての学びのために：
米国におけるアセスメントデザインの変革」

パネルディスカッション

Dr. Susan Albertine

小笠原 正明 「デジタル時代のコンピテンシーと学習成果アセスメント」

大塚 雄作 「日本の大学教育に求められるコンピテンシーとその評価」

濱 名 篤 「3つのポリシーと質保証」

日時

2016

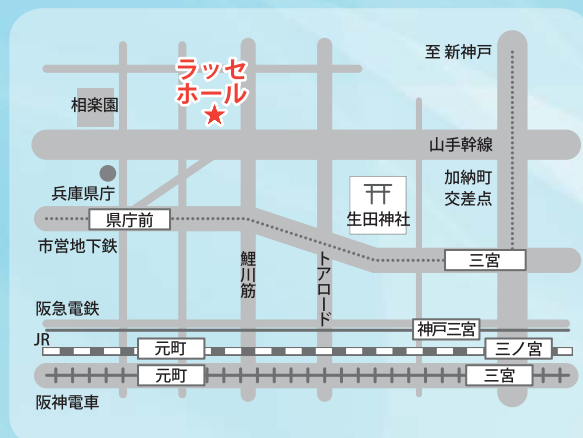
11/10 木

10:30 - 16:40 [10:00 受付開始]

会場

ラッセホール
2階ローズホール

(神戸市中央区中山手通4-10-8)



- ・新幹線「新神戸駅」から神戸市営地下鉄「県庁前」所要時間4分
- ・神戸市営地下鉄「県庁前」下車 徒歩5分
- ・JR・阪神「元町駅」下車 徒歩8分
- ・JR・阪急・阪神・神戸市営地下鉄「三宮駅」下車 徒歩15分

● 趣旨

予測不能な社会で活躍できる人材の育成をするには、質を伴った学士課程教育への質的転換を図る必要があることが、平成24年の中教審質的転換答申で指摘されました。この改革の方向性に賛同した大学が連携し、能動的学修や教室外プログラム等を構造化し、学生に強いインパクトを与えるように工夫した教育プログラムである「HIP (High-Impact Practices)」による教育方法の充実、学修成果の可視化、教員の教育力の向上を図ることを通じて、組織的教育を可能にする教学マネジメントの確立に取り組んできました。

ここに、5年間の取組の概要と成果を報告し、学修成果の質保証を実現するためのアセスメントについて考えるシンポジウムを企画しました。日本の大学に求められるコンピテンシーはどのようなものか、どのように伸ばすのか、また、どのように評価するのか、米国におけるアセスメントデザインの最新動向をヒントにみなさんと議論したいと思います。

● 登壇者紹介

Dr. Susan Albertine

全米大学・カレッジ協会 (AAC&U) の Integrative Liberal Learning and the Global Commons 局の上級研究員。2008年から LEAP States Initiative を監督。カレッジ・オブ・ニュージャージー名誉教授 (英語学)。

小笠原 正明

一般社団法人大学教育学会会長、北海道大学名誉教授。専門は放射線化学、考古物理学、科学技術教育。主著として、『大学改革を成功に導くキーワード30 — 「大学冬の時代」を生き抜くために』(学事出版2013年共編著)、『北大 教養教育のすべて』(東信堂2016年共編著) など。

大塚 雄作

独立行政法人大学入試センター教授、副所長、試験・研究統括官、入学者選抜研究に関する調査室室長。日本テスト学会理事、一般社団法人日本教育心理学会社員、一般社団法人大学教育学会理事など。教育心理学、教育評価を専門分野とし、大学評価、FD、大学入試等をフィールドとする。

濱名 篤

学校法人濱名学院理事長、関西国際大学学長。一般社団法人大学教育学会常務理事、日本高等教育学会理事、初年次教育学会常任理事。主な兼職として、文部科学省中央教育審議会臨時委員、独立行政法人大学入試センター運営審議会委員副議長、国立教育政策研究所評議員など。専門は高等教育論、教育社会学。

● 申し込み方法

参加をご希望の方は、件名を「シンポジウム申し込み」とし、本文に①名前、②所属、③役職等、④連絡先(電話&メールアドレス)をご記入の上、Eメールにて下記までお申し込みください。

お申し込み
お問い合わせ先

大学間連携共同教育推進事業室 HP ▶ <http://renkei.kuins.ac.jp/>
〒673-0521 兵庫県三木市志染町青山1丁目18番 関西国際大学内
電話：0794-84-3607 E-mail：kaikaku-renkei@kuins.ac.jp